

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信濃大町山フェス 2018 事業
事業主体 (連絡先)	信濃大町山岳フェスティバル実行委員会
事業区分	⑥ーア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	5,050,376 円 (うち支援金: 2,000,000 円)
事業内容	



【9/8 信濃大町山フェス 2018】

- ・信濃大町山フェス 2018 (メインイベント)
開催日: 9/8 (土) 会場: 大町公園一帯
⇒ SBC 信越放送「ともラジ」公開生放送、野外ステージイベント (「まり子」ミニLIVE・JAZZ LIVE・大抽選会)、山岳博物館無料開放、ボルダリング・MTB・スラックライン体験 他
- ・モニターツアー事業 ⇒ 2泊3日 後立山縦走
⇒ 「エイ出版社」とタイアップし特集記事でツアーを報告
- ・地元小学生・中学生のためのクライミング&スラックライン教室
⇒ 8/5 (日) 県人工岩場周辺 地元小中学生 29人参加
- ・湯俣トレッキング事業 ⇒ 9/30 (日) 登山道破損のため中止
- ・その他事業 (イベント出展)
⇒ 夏山フェスタ (名古屋)・モンベルフェア (福岡・大阪・横浜) で岳都「大町市」の山岳観光、地域の魅力や情報等をPR



事業効果

- ① 山岳文化・観光の振興普及
5つの事業 (うち1つは中止) を通じ、参加者や来場者があり、当地域の山岳文化を体感いただくことにより親しむきっかけづくりとなった。特にクライミング&スラックライン教室については好評であった。
- ② 岳都「大町市」の認知度向上
南の槍ヶ岳山頂から北の五竜岳まで、全国屈指の広範な大町市の山域について各種事業を通じてPRが図れた。
- ③ 市民への山の恩恵の再認識
山の素晴らしさや恩恵について市民が再認識する機会となった。また、地元小・中学生に対する「山岳」への理解と関心を高められた。
- ④ 情報発信
9/8 (土) 山フェスでは、ラジオ公開生放送を実施。その他様々な機会でも地域の魅力や情報を発信し誘客する効果がえられた。(関係施設やイベント出展などでPR)

【目標・ねらい】

- ① 山岳文化・観光の振興普及
- ② 岳都「大町市」の認知度向上
- ③ 市民への山の恩恵の再認識
- ④ 情報発信

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・様々な事業を通じて、岳都「大町市」の情報発信や認知度向上、誘客が図れた。
- ・9/8 山フェスでは、SBCラジオ公開生放送による情報発信等効果があった一方で、雨天のため入場者については、前回は大きく下回ったため。

今後の取り組み

今後も本事業を継続しあらゆる機会を通じて、「山の日」制定趣旨の理解・啓発や、岳都「大町市」を全国に発信していくとともに、「山フェス」と言ったら「大町市」とイメージしていただけるような事業を展開し、山岳観光の振興を図ってきたい。

登山・トレッキングユーザーへの告知をより一層強化。